

市政に 対する 一般質問

〽〽6名の議員が質問〽〽

2月定例会の一般質問は、2月26日及び2月27日の2日間
にわたりに行われました。なお、議会改革の検討から試行的に
全員が「一問一答方式」により質問を行いました。
質問の要旨は次のとおりです。

大野 栄光 当市の米農家をどう守るか

菅野 恭子 地域包括支援センターについて 他

水落 孝子 子ども医療費助成制度の拡充について 他

四竈 英夫 仙台・宮城ステイネーションキャンペーン(DC)
の検証と今後の対応について 他

伊藤 勝美 事業継続計画(BCP)について 他

山田 裕一 平成26年度施政方針について 他

当市の米農家をどう守るか

大野 栄光



四季折々の自然に美
田広がる白石市の風景
は誇れる田園都市であ
る。そんな環境を次代
に残そうと農家の方は
頑張っている。

国は4年後の減反中
止、所得補償の半減、
大規模農家の育成、国
際競争力の強化をう
たっている。

当市は盆地ゆえ中山
間水田が多く、作業効
率も悪く、経費削減も
生産努力も限界である。
米を守り消費者に供給
を続けたい。そんな思
いで農業を続けておら
れる米農家の人たちが
ある。

〔質問〕生産者の多く
は60歳から80歳世代ま
での人たちです。水田
作業の特異性で春と秋

に労力が集中し、多く
の人が後継者不足を嘆
いている。高齢者がリ
タイヤしたときに誰が

受け皿となって米生産
に励むのか。次世代に
魅力ある水田農業のビ
ジョンを示していただ
きたい。

〔答弁〕【市長】農政は
国政であり、農業は国
策であるという事をこ
理解いただきたい。

高齢化問題、後継者
問題というのは白石市
だけの問題ではない。
日本全体の問題である。

国の基本政策は農政
の大改革として所得安
定政策、水田フル活用
と米の見直し、直接支
払い制度の創設、農地
集約を進め担い手利用
面積が全農地面積の8
割となる効率的な営農
体制を作る事である。

今後、国から具体的
な内容が示される予定
であり、宮城県及び関
係機関と連携を図りな
がら適切に対応してい
きたい。

〔質問〕市民に食を供
給する持続性農業をど
う確立するのか。国の
指導を取り込んで高齢
者の農業現場を担って
いる人たちの受け皿と
なるような具体的な案
を示していただきたい。

〔答弁〕【市長】白石市
と他の地域との違いは
理解している。しかし
農業は国策である。日
本全国の統一した意見
を農林水産省が示す。
それを農家の方々に正
確に伝えて、どのよう
に活用していくのかを
ともに考えていきたい。
【その他の質問】
○多面的機能を有する
中山間農地集落の健全
化をどのように維持す
るのか。